

6. バブルラップ

バブルラップという商品^{しょうひん}がある。これは誰^{だれ}でも一度^{いちど}は見たこと
がある物^{もの}だが、初めて^{はじ}作^{つく}られた時^{とき}は、今^{いま}と全然^{ぜんぜん}違^{ちが}う使^{つか}い方^{かた}だった。こ
の商品^{しょうひん}の使^{つか}い方^{かた}はどのように変^かわって、そして、どうやって世^せ界^{かい}に
広^{ひろ}がっていったのだろうか。

ある発^{はつ}明^{めい}品^{ひん}が、最^{さい}初^{しよ}の使^{つか}い方^{かた}で
はなくて、別^{べつ}の使^{つか}い方^{かた}で価^か値^ちが出^で
ることがある。

1957年^{ねん}にアメリ^{じん}カ人^{じん}エンジニア
のアルフレッド・フィールディング
とスイス人^{じん}発^{はつ}明^{めい}家^かのマルク・シャバ
ンヌは、それま^{あた}でにない新^あしい壁^か紙^{べがみ}
を作^{つく}ろうとしていた。二^ふ人^{たり}は、2枚^{まい}の
シャワーカーテンを貼^はり合^あわせて、
その間^{かん}に空^{くう}気^きの泡^{あわ}を閉^とじ込^こめた。
完成^{かんせい}した壁^か紙^{べがみ}は、空^{くう}気^きの泡^{あわ}でデコボ
コしたものだ^うった。しかし、その
壁^か紙^{べがみ}はほとん^うど売^うれな^うかった。それ



で、シールドエアーという彼らの会社は、この壁紙をビニールハウスの覆いとして売ることにした。これは少し売れたが、彼らはまだまだ満足しなかった。

そんなとき、二つの出来事が重なって、全く新しいアイデアが生まれた。一つは、コンピューター会社の IBM が 1401 という新しいコンピューターを作ったことだった。そしてもう一つは、シールドエアーの社員が飛行機に乗っていたときに、ある景色を見たことだった。

1959年のある日、シールドエアーの社員のフレデリック・バウワーズは、飛行機に乗っていた。飛行機の窓から外を見ると、飛行機の下に広がる雲が見えた。雲はまるで柔らかい枕のように、飛行機をやさしく支えていた。その瞬間、彼は歴史に残るアイデアを思い付いた。商品を守るために、シールドエアーの発明品を使ったらどうだろうか。運ぶ途中で壊れてはいけなようなデリケートな商品・・・例えば、コンピューター！

バウワーズは IBM に行って、自分たちの発明品を紹介し、どうやって使うのか説明した。IBM の人たちは発明品を気に入って、

1401 を保護するの^{ほ ご}に使う^{つか}ことを決めた^き。1401 はその後^ご、世界^{せ かい}で最^ももよく使^{つか}われたコンピューターの一つ^{ひとつ}となったのである。

コンピューターだけではなく、デリケートな商品^{しょうひん}をどうやって保護^{ほ ご}するかは、多^おくの会社^{かいしゃ}の長年^{ながねん}の問題^{もんだい}だった。この新^{あた}しい梱包材^{こんぼうざい}の素晴らしさが理解^{り かい}されると、この梱包材^{こんぼうざい}はどん^{ひろ}どん広がっていった。

今、この梱包材^{こんぼうざい}はバブルラップとして知^しられている。企業^{きぎょう}が高価^{こう か}な商品^{しょうひん}を包^{つつ}んだり、誕生日^{たんじょうび}プレゼントを郵便^{ゆうびん}で送^{おく}るときに包^{つつ}んだり、いろいろな所^{ところ}で使^{つか}われている。そして、子^こどもたちがバブルラップを潰^{ひた}して音^{おと}を鳴^ならして遊^{あそ}ぶこともある。しかし、これを壁紙^{かべがみ}として使^{つか}っている人^{ひと}はいないだろう。

今^{いま}では、シールドエアーは世界^{せ かい}的な会社^{かいしゃ}とな^てって、毎年^{まいとし}地球^{ちきゅう}10 周^{しゅうぶん}分の長さ^{なが}のバブルラップを作^{つく}っている。

単語リスト：

発明品（はつめいひん） Sản phẩm được phát minh
壁紙（かべがみ） Giấy dán tường
完成（かんせい） Hoàn thành
空気（くうき） Không khí

保護する（ほごする） Bảo vệ
途中で（とちゅうで） Nửa chừng
曇（くも） Mây
デリケートな Tỉnh vi
梱包材（こんぼうざい） Vật liệu đóng gói
潰す（つぶす） Bóp bẻ

ビニールハウスの覆い（おおい）Đồ che phủ nhà kính (trồng cây) 飛行機（ひこうき）Máy bay 思い付く（おもいつく）Nghĩ ra	地球（ちきゅう）Trái đất
---	------------------